

【専門教育科目/看護研究】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
看護研究 I		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎	302	s.mochizuki	水曜日 12:30~14:00		
授業の目的・概要	看護を採求する姿勢は研究につながる。看護の質の向上・発展に研究は欠かすことができない。本科目では、看護における研究の目的や必要性・倫理的配慮、文献クリティーク、研究のプロセス、研究計画書の作成の仕方など、看護的研究に関する基礎知識を学ぶことを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。				
教科書	看護における研究第2版 / 南裕子他編 / 日本看護協会出版会 / 2021				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	なし。				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	看護研究の必要性とその役割等について説明できる。	HSU(2)、NS(1)			
②	看護研究の一連のプロセスを説明することができる。	HSU(2)、NS(2)			
③	研究デザインの種類・特徴について説明できる。	HSU(2)、NS(3)			
④	研究を進める際の倫理的配慮について説明できる。	HSU(1)、NS(1)			
⑤	文献の精読を通じ、クリティークの方法が養われる。	HSU(2)、NS(4)			
⑥	主体性を持って取り組むことができる。	HSU(5)、NS(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	看護研究の必要性とその役割を学ぶ。	講義	教科書の第1章を予復習すること。	4	
2	研究が看護実践の中でどう活かされているかを学ぶ。	講義	これまでの実習経験を振り返る。	4	
3	看護研究過程の概観と研究倫理について学ぶ。	講義	教科書の第1・2章を予復習すること。	4	
4	文献検索について学ぶ。	講義	教科書の第3章を予復習すること。	4	
5	研究デザイン① 量的研究・質的研究の特徴を知る。	講義	教科書の第5・10章を予復習すること。	4	
6	研究デザイン② 研究の種類と特徴を知る。	講義	教科書の第5・10章を予復習すること。	4	
7	研究のテーマ・背景・目的の基本的な書き方、概念枠組みについて学ぶ。	講義	教科書の第4・6章を予復習すること。	4	
8	研究方法 (データの収集・分析) について学ぶ。	講義	教科書の第7・8章を予復習すること。	4	
9	結果・考察の書き方と発表の方法について学ぶ。	講義	教科書の第9章を予復習すること。	4	
10	研究論文の評価 (クリティーク) 方法の実際を学ぶ。	講義	各自検索した文献を見ながら講義内容を復習すること。	4	
11	研究論文クリティーク演習① 研究論文のクリティークについて学ぶ。	講義・演習	予習:クリティークする文献を読んでくる。	4	
12	研究論文クリティーク演習② 研究論文のクリティークについて学ぶ。	講義・演習	復習:クリティークの実際の中で学んだことをまとめる。	4	
13	研究論文クリティーク演習③ 研究論文のクリティークについて学ぶ。	講義・演習	復習:クリティークの実際の中で学んだことをまとめる。	4	
14	研究論文クリティーク演習④ 研究論文のクリティークについて学ぶ。	講義・演習	復習:クリティークの実際の中で学んだことをまとめる。	4	
15	研究論文クリティーク演習⑤ 研究論文のクリティークについて学ぶ。	講義・演習	これまでの学習課題を振り返り内省する。	4	
試	試験・課題レポートの記述				

【専門教育科目/看護研究】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
		20	0	0	0	0	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	講義・演習の中で学んだ内容を評価する。選択式の試験問題とする。				担当教員が評価し、必要に応じ学生にフィードバックを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		演習に積極的に取り組み、課題に適切に対応できる社会人基礎力を養うため、他者の発言をよく聞き積極的に発言すること。毎回の発言回数及び発言内容を評価する。また、授業の出欠席も評価する。				授業時間内でフィードバックしていく。
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員	なし。						
教員の実務経験	行政保健師として8年間の勤務経験を有する。						
実践的授業の内容	担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
そ の 他	講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。学生の理解度に応じ、講義・演習の速度や順番を調整する可能性がある。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって、シラバスの内容が一部変更となる可能性がある。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。						